

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあつては名称) ヤマト運輸株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒104-8125 東京都中央区銀座2-16-10	
本票作成	部署名：岡山主管支店 社会貢献課				
主たる業種	分類コード	4	4	業種名：道路貨物運送業	
事業の概要	貨物自動車運送業 従業員145290人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	津山主管支店		苫田郡鏡野町古川1072-5	
	②	岡山主管支店		岡山市中区倉益253-11	
	③	岡山備前支店		瀬戸内市長船町長船字大森向297-1	
	④	岡山東支店		岡山市中区倉益253-11	
	⑤	倉敷水島支店		倉敷市広江1-2-17	
	⑥	岡山南支店		岡山市南区浦安本町29-7	
特定事業者の該当要件	<input type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input checked="" type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タンク250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 85 所 ●車両台数(②該当の場合) 653 台)				

計画期間	平成25年度		～	平成25年度 (1 箇年度)						
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準		目標削減率 1.0 %	目標区分	20%以上	20～15%	15～10%	10～5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準								○
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成24年度)				目標年度 (平成25年度)					
	11,532 t CO <sub>2</sub>				10,943 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成24年度) の排出量						
	①	津山主管支店		1,229 t CO <sub>2</sub>						
	②	岡山主管支店		919 t CO <sub>2</sub>						
	③	岡山備前支店		356 t CO <sub>2</sub>						
	④	岡山東支店		265 t CO <sub>2</sub>						
	⑤	倉敷水島支店		264 t CO <sub>2</sub>						
	⑥	岡山南支店		263 t CO <sub>2</sub>						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
	宅配便個数、メール便冊数(発送、到着の場合。メール便は10冊で宅急便1個に換算)。		基準年度	目標年度
			231.4 kg CO <sub>2</sub> / (千個)	229.1 kg CO <sub>2</sub> / (千個)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (24年度)	達成率(%)

【目標削減率設定の基本的な考え方】

仕組み：エリアに応じた集配方法の設定、車両台数の抑制 機器：新車載システムの活用 人：エコドライブの推進と言う3つの側面から戦略を立て、目標削減率達成に向けて取り組みを推進していきます。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

- ・ 全社：弊社が行う環境活動ネコロジーと呼びグループ全ての環境活動の指針とします。
- ・ 岡山主管支店：毎月の業務改善委員会と安全衛生委員会において、事故の未然防止とともにエコドライブの推進とCO2・走行距離・燃料使用量削減の手段設定と確認を行っております。

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
岡山主管支店・津山主管支店	(走行距離の削減)：エリアに応じて集配方法を実施する。 ・ 極力車両を使わない集配活動を行う新集配方法の実施。 ・ 車両＋自転車＋台車によるチーム集配。車両を移動させずに拠点として集配を行います。 ・ 車両を使用しないサテライトセンターの設置。

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
岡山主管支店・津山主管支店及び管下店	・ 今後も基本的に従来の取り組みを実施します。 ・ 車載Naviシステムを活用し、事故の未然防止とともにエコドライブの推進とCO2・走行距離・燃料使用量削減を実施確認していきます。 ・ 主管支店の実績をランキングすることにより競争意識を持たせ、個々のレベルアップを図っていきます。

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

- ・ 電力使用量削減に向けた夏季省エネ運動（8月）、環境意識の向上とCO2排出量削減を目標とする冬季省エネ運動（12月～2月）を展開しています。
- ・ クールビズ・ウォームビズに取り組んでいます。
- ・ 全社で、鉄道・海運へのモーダルシフトを展開しています。